

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**118**

令和7年(2025)
1月1日発行



「朝の光、窓辺」 祝迫正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
今村 英仁	
第35回全国介護老人保健施設大会 岐阜	2~3
研く 究める	4~9
協会だより	9
令和6年度 研修会	10~11
ぶらぶらが素敵 かがしま ¹⁸	12~13
こぼれおちたものもの ⁴²	14
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	15
ろうけん広場	16
かごしまの食卓 冬編	17
介護用品あれこれ	18~19
あなたの地域の介護老人保健施設	20~24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「朝の光、窓辺」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



時代を読む

「つなぐ」ことの支援」で 地域ニーズに応える

鹿児島県老人保健施設協会 代表理事

今村 英仁



令和6年、世間はポストコロナ時代に移行しながら、我々、医療・介護業界は相変わらず新型コロナウイルスのクラスター対応に追われる日々からスタートしました。夏頃にはまた日本全体が新型コロナウイルス禍に覆われるかと一時危惧され、大きな影響を九州は受けましたが、そこから北上することなく、年末にかけてコロナの話題を巷では聞かなくなりました。

今回の新型コロナウイルス禍では、医療・介護業界で働くのは大変なことだと改めて認識され、この業界から急速に人材の流出が起こり、その状況を見て、この業界に夢を持って入ってくれる人材も急速に減っています。さらに、新型コロナウイルスの影響で下がったと考えられた老健の稼働状況は、災禍が落ち着いた後も元に戻ることはありません。稼働率の低下傾向は災禍の前か

ら始まっており、災禍でマスクされた部分を取り除くと、災禍以前の低下傾向の延長上に現在の状況が綺麗に重なるとの説明もあります。

今回のトリプル改定では、介護老人保健施設は経営実態調査で償却前利益が赤字に陥っている状況が考慮され、介護報酬が若干増額されました。介護報酬プラス改定は朗報ではありませんが、そもそもご利用者がいなければ介護報酬を得ることはできません。

今までも年々厳しくなる状況で、介護老人保健施設の未来を明るいものにするために、年頭の巻頭言で「夢」を語ってきましたが、全てがここまで四面楚歌の状況に陥ったことは、老健制度が発足以来初めてです。

実際、老健の施設数は数年前をピークにして漸減しており、その傾向が加速しています。

この巻頭言では、夢ではなく、現実の課題解決について考えてみます。

その際に参考になるのが、2040年に向けて議論が始まった「新しい地域医療構想の策定」です。

2025年に向けた地域医療構想の策定においては、全国一律の基準で「病床の機能分化・連携」がテーマで、結果として急性期病床の適正化（削減）のみにフォーカスが当たりました。

今回は、日本全国、地域ごと人口変動の状況が異なることを前提に構想の策定が行われます。1）今後も高齢者人口が増える大都市圏、2）人口増加は望めないが高齢者の介護ニーズは増えていく地方都市、3）すでに高齢者人口もピークアウトして医療・介護の需要が減少する過疎地域、の大きく3つの地域に分けて、それぞれの事情に合わせて計画を策定することが求められます。大都市圏から遠く離れた鹿児島県では、鹿児島市といくつかの地方都市を除くとほとんどが過疎地域の位置付けで計画が策定されることになります。

今回の特徴は、「入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む、医療提供体制

制全体の課題解決を図るための地域医療構想へ」となっていることです。

介護老人保健施設の機能は「在宅復帰」と「在宅支援」の2大柱ですが、地域によっては「住まい」機能も求められてくるかもしれません。

医療制度では、かかりつけ医療報告制度が始まりますが、その機能の中で大事な機能が「医療・介護連携」です。今まであまり目を向けてこなかった地域の先生方も、これからは今までの以上に医療・介護連携に力を入れてきます。その際に、自施設がその地域の中でしっかりとこの連携の輪の中に位置付けされているかが非常に大事になります。

その地域で必要な機能を、老健の在宅復帰と在宅支援機能だけに縛られることなく、自施設に足りない機能は、地域で連携しながら、その地域のニーズに応じていくことが大事になります。

鹿児島県老健協会の役割に「つなぐ」ことの支援」を一つ追加することが大事となります。このような時期だからこそ、皆さんで知恵を出し合い、協力してこの難局を乗り越えていきましよう。宜しくお願ひします。



長良川国際会議場で開かれた全国老健大会の開会式

第35回全国介護老人保健施設大会 岐阜

「再び、地域が動く」

～多様性を包摂する老健のさらなる共進(共鳴・共生進化)を～

**3300人参加、
ともに学ぶ
鹿児島島の3人が
成果発表**

第35回全国老人保健施設大会
岐阜は昨年11月14、15の両日、
岐阜市の長良川国際会議場を中
心に開かれました。「再び、地域
が動く」多様性を包摂する老健
のさらなる共進(共鳴・共生進化)
を」を大会テーマに、約330
0人が参加しました。

開会式で大会会長の長縄伸幸
氏(全老健岐阜支部長)が「老
健は医療・介護のハイブリッド施
設であり、今後の地域における
リーダー的集団である」と強調。
「みなさんが大会での出会いを通
して触発され、さらに地元の強力
なリーダーとなることを期待し
ます」と歓迎のあいさつをしまし
た。

また全老健の東憲太郎会長(南
さつま市加世田出身)は、昨年1
月の能登半島地震の被災地支援
のため会員施設から約4千万円
の支援が寄せられ、同5月に現
地に寄贈したことを報告しまし
た。



整容ケアの会場で発表する
ろうけん青空の土岐香織さん

整容・ケアの部門では、ろうけん青空（鹿児島市）の介護福祉士、土岐香織さんが『よかにせ・よかおこじょ』でよかあんべ〜整容・身だしなみで気分は前向き ちよつとそこまで』と、鹿児島弁を交えたテーマで講演。



「介護ロボット・AI」の会場で
座長を務めたろうけん青空の
後藤祐基さん

「期間中、「認知症とともに生きる社会を考える」「地域・在宅から見た老健の役割」など4つのシンポジウムのほか教育講演が行われました。

演題発表には全国から800を超える申し込みがあり、鹿児島からは3施設の職員が日ごろの取り組みや成果を発表しました。



各会場は大勢で埋まり、熱気が伝わってくる

利用者には整容・身だしなみのケアをする中で、「少し口ひげやまゆ毛を整えるだけで、利用者の気分が晴れ、前向きになることが分かり、普段のケアの必要性を感じている」と分析。利用者が明るくなる様子にスタッフのモチベーションも上がっていくと報告しました。

「漫然とケアをするのではなく、利用者の方の機能面を見極めてできることを増やすことが、前向きな行動や言動につながる」と考えている」とまとめました。



全老健のイメージキャラクター「ROKENくん」のぬいぐるみが会場でお出迎え



鹿児島県関係の演題と発表者

座長

介護ロボット・AI



ろうけん青空（鹿児島市） 統括管理部長 後藤 祐基さん

介護福祉士の自己啓発の実態



コスモス苑（垂水市） 介護福祉士 米満 知美さん

グループホームとの連携と
今後の課題～よりよい食支援に
繋げるために



愛と結の街（鹿児島市） 言語聴覚士 寺尾 香織さん

「よかにせ・よかおこじょ」でよかあんべ
～整容・身だしなみで気分は前向き ちよつとそこまで～



ろうけん青空（鹿児島市） 介護福祉士 土岐 香織さん

研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

多職種連携による生産性向上の取り組み ～フロア業務と送迎の検討～

介護老人保健施設 愛と結の街（鹿児島市）

理学療法士 有園 大紀
作業療法士 村井真由美

【はじめに】

当事業所（以下、通所リハ）は午前午後2部制の2時間15分の短時間コースと、食事・入浴込みの6時間30分の長時間コースの2種類のサービスを提供しているという特徴がある。日頃時間内に業務が進まず業務改善が必要と感じていたが何から着手していけばよいかわからない状況であった。そこで業務改善を体系的に行うために厚生労働省老健局による「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」を元に業務改善に取り組み、いくつかの業務効率指標や職員間の関係性を表すサービスの質指標において改善がみられたので取り組みの過程と取り組み前後の指標の変化について報告する。

【対象】

当通所リハ職員8名、職種の内訳は介護福祉士4名、作業療法士2名、理学療法士2名である。

【方法】

通所リハ職員が「ムリ・ムダ・ムラ」と感じていることについて「気づきシート」に記入し、得られた98枚のシートを検討し因果関係図を作成した。シートの枚数が多かった項目として「フロア業務」、「送迎」、「月末業務」があがった。

取り組みたい課題について聞き取りを行い、その結果「フロア業務」と「送迎」の課題に取り組みることになった。取り組み前後の比較にはガイドラインの生産性向上の効果判定ツールを用いた。業務改善の指標となる定量的データ（要する時間、スタッフの人数等の具体的な数字）と定性的データ（業務

に追われる焦り感、設定のしやすさ、サービスの質指標等を4件法の指標で回答）を取り組み前後で各職員に入力してもらった。統計解析は時間や人数など定量的評価に関しては取り組み前後でt検定を行い、「ない」、「あまりない」、「ややある」、「ある」の定性的評価に関しては1から4の数字に置き換え、Wilcoxon符号順位検定を行った。いずれも有意水準を5%以下とした。

【倫理的配慮】

本研究の概要・目的を文書で説明し、回答（データ入力）をもつて研究参加に同意したとみなした。

【結果】

フロア業務に関しては、取り組み全般を通して定性的評価である

「時間に追われる焦り感（心理的負担）」は有意に低下した。定量的評価である「片麻痺利用者のプリー、ローイング（パワーリハビリテーション機器）の手の固定時間（分）」、「片麻痺利用者のスポットバイク、エルゴメーターの足の固定時間（分）」では優位に時間が短縮された。送迎に関しては「到着時刻からオーバーする時間（分）」「送りの発車時刻から遅れる時間（分）」ともに有意に遅れる時間が短縮された。「昇降座椅子を扱える職員数（人）」は取り組み後有意に扱える職員数が増加していた。

【考察】

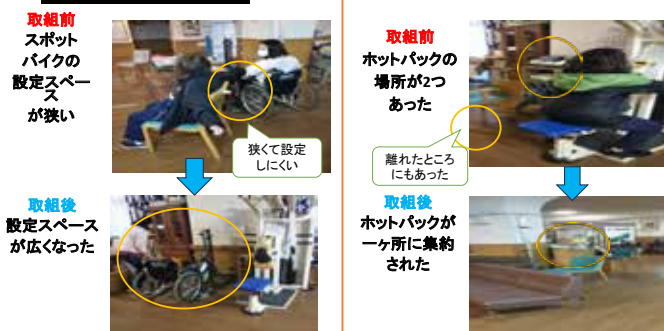
職員全員が課題を解決しなければならぬという意識を持つことで生産性が向上され、取り組み前よりも同時時間でより多くのサービス提供をすることができた。介護

の価値を高めることができ、人材育成、チームケアの質の向上が図ることができたと考える。

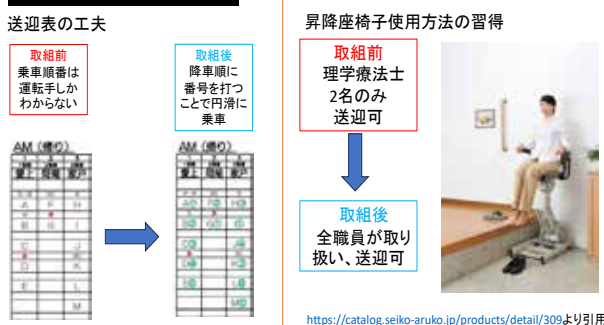
【結論】

時間短縮や効率化された業務は、利用者に対し有益な価値を生み出すと共に、課題解決するまでの過程で職場内の人間関係の改善や、人材育成だけでなく、リーダーシップ発揮やマネジメントを執り行う機会にもつながる。

取組1:レイアウト変更



取組3:送迎の工夫



取組2:片麻痺利用者の麻痺手の固定



表2 取組前後におけるサービスの質指標変化(n=8)

	取組前	取組後	p値
視点1: チームケアの質の向上			
1. 協働のしやすさ	1.4±0.5	2.5±0.5	0.019
2. 心理的に安心して発言できる状況	1.3±0.7	2.4±0.7	0.031
視点2: 人材の成長			
1. 昇降座椅子の使用法の理解	1.75±0.7	3.4±0.7	0.021
視点5: チーム意識			
1. チーム意識	1.3±0.4	2.5±0.5	0.019
2. 組織の風通しのよさ	1.4±0.5	2.5±0.5	0.018

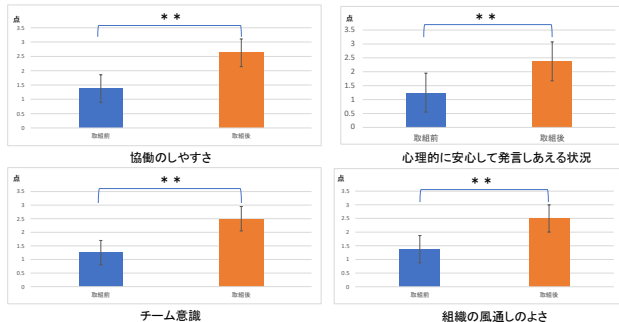
*Wilcoxonの符号不順位検定、**t検定
*注釈 定性的評価は、「ない」、「あまりない」、「ややある」、「ある」に対して、1から4の数字に置き換えた。数字が高い方が良いことを意味する。

表1 取り組み前後における業務効率指標の検定結果(n=8)

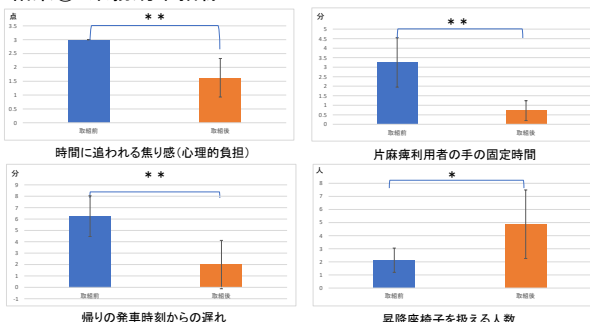
	取組前	取組後	p値
①職場環境の整備			
1. 時間に追われる焦り感(心理的負担)	3.0±0.0	1.8±0.7	0.019*
2. スポットバイクの設定のしやすさ	2.0±1.0	1.6±0.9	0.330*
3. 片麻痺利用者のブリー、ローイングの手の固定時間(分)	3.3±1.3	0.7±0.5	0.001**
4. 片麻痺利用者のスポットバイク、エルゴメーターの足の固定時間(分)	4.3±1.5	2.1±1.3	0.008**
②業務の明確化と役割分担			
1. 朝の到着時間からオーバーする時間(分)	11.5±3.8	7.1±5.3	0.011**
2. 送りの発車時刻から遅れる時間(分)	6.3±1.8	2.1±1.0	0.006**
③OITの仕組みづくり			
昇降座椅子を扱える職員数(人)	2.1±0.9	4.9±2.6	0.011**

*Wilcoxonの符号不順位検定、**t検定
*注釈 定性的評価は、「ない」、「あまりない」、「ややある」、「ある」に対して、1から4の数字に置き換えた。数字が高い方が良いことを意味する。

結果②: サービスの質指標



結果①: 業務効率指標



研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

レクリエーションの充実

生活意欲に繋がる活動を目指して

介護老人保健施設

コスモス苑（垂水市）

介護福祉士・リスクマネージャー

介護福祉士 川井田智大 中西めぐみ

入佐 茂輝

宮迫 千鶴

【はじめに】

老人介護施設で提供されるレクリエーション（以下レク）の目的としては「身体機能の維持・向上」、「脳の活性化」、「コミュニケーションの促進」等が挙げられている。コロナ禍以前は垂水市介護老人保健施設コスモス苑（以下当苑）でも、種々のレクを提供していたが、嚴重な感染対策が求められるようになった2020年4月以降はレクを画一化せざるを得ない状況が続き、利用者のレクに対する意欲が低下しているように感じられた。そこで新型コロナウイルス感染症が5種に変更になったことを契機として、レクの活性化を目的に様々な取り組みを実施したことで「生活リズムの修正」、「身体機能の維持・向上」、「在宅復帰への意欲の向上」に繋がった事例を認めたので報告する。

【目的】

利用者の希望に合わせたレクを提供し、生活のリズムを作るとともに身体機能の維持・向上や充実した余暇時間が過ごせる。

【研究方法】

1 データの収集・分析

- (1) 対象者…2階利用者様10名
- (2) レク提供前の利用者満足度アンケート調査（レクの選定）
- (3) レク提供後の利用者・職員満足度アンケート調査

2 究期間…2023年8月～

2023年10月末

【倫理的配慮】

対象利用者へ本研究の趣旨を説明し、研究の実施、結果の公表などすべての過程においてプライバシーは完全に保護される事、研究への参加・不参加に関わらず不利

益が生じない事を書面にて説明し同意を得た。

【結果・考察】

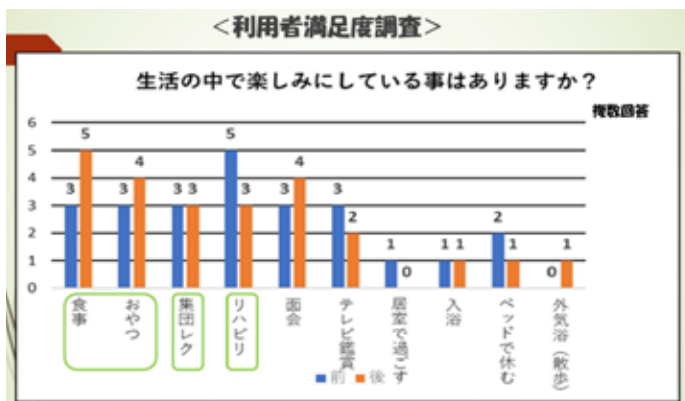
今回レク実施前にアンケート調査を行ったこと

で、利用者の要望に沿った個別レクを提供することができた。森山氏等（※1）は「QOL（Quality of life…生活の質）の向上には、他者との交流を図り、孤独や孤立感を解消したり、人との関係での楽しみや喜びを見出したりすることもできる余暇時間（レク活動）の充実が欠かせない」と述べている。興味のあるレクを中心に1か月のスケジュールを一緒に考え、食事の座席へスケジ

【利用者・職員に対するアンケート】

日常生活における満足調査		職員満足調査	
Q1 施設での生活は満足していますか？	3.0	Q1 施設での生活は満足していますか？	3.0
Q2 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q2 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q3 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q3 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q4 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q4 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q5 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q5 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q6 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q6 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q7 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q7 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q8 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q8 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q9 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q9 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0
Q10 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0	Q10 施設での生活は満足していませんが、理由は何ですか？	3.0

【参考文献】 ※1 森山氏等 森山千賀子ほか、日本の高齢者施設における余暇時間の現状と課題-QOLの向上に効果的な余暇活動とは-白梅学園大学・短期大学紀要 45:49～67 (2009)



個別のスケジュール表 (食堂へ提示)

個別のレク道具 (スケジュール表・スクラッチ・計算問題)

脳レク (認知機能の維持)

孫にあけるの
家族への感謝の気持ちを
添えられていた

★アートスクラッチ

普段居室で過ごされている利用者が
参加されている様子

★計算問題

嚥下体操 (嚥下機能の維持)

口唇機能の低下を予防する体操

実施後

会話が aumentado

ムセ込みが減少

アイスマッサージ中



ユーニール表を提示した。
身体機能の維持は筋肉の柔軟性を維持するため、タオル体操を取り入れた。他利用者と楽しく会話をしながら運動している姿が見られた。認知機能に対しては、記憶力・理解力維持を目指し、オートスクラッチや計算問題に取り組みでもらった。出来た作品を「孫にあげる」と意欲的な発言や、家族への想いを綴った手紙を書かれる利用者も居た。嚥下体操は以前から定

期的に実施していたこともあり、スムーズに行うことができた。生活リズムの変化として、普段は居室で過ごされる利用者がスケジュール表を見ながらレクに参加されるようになった。
高齢になるとコミュニケーション能力が低下し、孤立しやすくなるという特徴があるが、今回のレクを通じて利用者様同士の会話も増える傾向にあった。古市氏(※

員はレクリエーションの効果を理解する事で利用者の生活の質の向上に向けたレクリエーションの提供が可能になる」と述べている。今回レクは利用者の余暇時間を充実させるだけでなく、人間関係を広げる契機となった。また職員の意識調査では「利用者主体のレクは利用者の意欲や笑顔を引き出すことができる」「レクの重要性を再認識した」等の意見が寄せられた。

- 【結論】
- 1 利用者の希望に沿った個別レクを提供することは、利用者の機能改善に繋がる。
 - 2 個別レクの提供は利用者の人間関係を広げる契機になった。
 - 3 レク活性化のためには個別レクおよび集団レクのいずれにおいても意欲の向上に繋がる内容であることが重要である。

【引用文献】 ※2 古市氏
人間生活文化研究Int J Hum Cult Stud. No.30 2020「介護老人福祉施設におけるレクリエーションの現状と課題」

研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

若年入所者の在宅復帰支援

独居での新生活に向けて

介護老人保健施設 ヴィラかのや（鹿屋市） 介護支援専門員 豊園 裕一

【はじめに】

近年、脳血管疾患の発症等により、若年で介護保険認定を受ける方が増えている状況がある。

今回、当施設を初めて利用した若年の利用者様の想いに寄り添い、多職種と連携し新居での生活ができるよう取り組んだ経緯をここに報告する。

【事例紹介】

49歳 男性

- ・介護認定：要介護4
 - ・日常生活自立度：B-1
 - ・認知症自立度：I
 - ・既往歴：右被殻出血
 - ・生活歴：M県にて母親と実家で二人暮らし。
- 将棋教室でアルバイト経験有るも、引きこもりがちで収入乏しく、健康保険料滞納有り。
- ・趣味：将棋

入所経緯：令和4年12月末、自宅で左手の脱力を感じ、妹へ連絡。K脳神経外科病院に救急搬送、右被殻出血にて同日入院。構音障害、左片麻痺残存。日常生活ほぼ全般に介助を要し、自宅退院困難となり、妹在住のK市にて当老健入所となる。

【在宅生活に対する意向と課題】

・ご本人の生活に対する意向
「人中にいたいのが、つらい。独りで生活したい。」

- ・課題
 - 1 経済的課題
 - 2 居住地の選定
 - 3 ADLに沿った住環境整備
- ※1・2に関し、妹が生活保護申請、保護の範囲で入居可能な賃貸アパートを探す。
- ※3. 実際ご本人と一緒に住環境の確認と動作確認を実施

【方法】

《退所前訪問 1回目 R5・9・12》
一般の賃貸アパートの為、車椅子での移動や活動が困難な状況。屋内外の出入り、入浴・排泄等のADLと掃除・調理・洗濯等の家事等、独居生活を想定する上で課題が多い。

《退所前訪問 2回目 R5・9・20》

- 1 1回目の訪問時の課題を整理し、PT、居宅ケアマネ、福祉用具業者らを含めた自宅訪問実施。
- ・住環境に必要な物品
- ・玄関、トイレに手すり設置（いずれも貸与）
- ・寝室 電動ベッド貸与（介助バー含む）等配置等も含め検討。
- ・生活全般への支援
- ・通院やりハビリ、家事面の具体的支援内容の検討。





〔考察・まとめ〕
今回のケースを通し、多様な年齢によるニーズや課題について、入所中のコミュニケーションを通じ、退所後の生活の不安が軽減でき、前向きな考え方を促進できるような支援することが重要であると感じた。また、若年という年齢の問題だけではなく、経済的課題やご本人の意向に沿った転帰先など複数の課題があったが、唯一のご家族である妹さんの支援が大きく、それらの課題を入所中にクリアす



ることができた。
今回受傷後初めて、見知らぬ土地での独居生活となるため、2度の家屋評価を行い、少しでも不安が軽減できるよう努め、ご本人の思いも含め、居宅やサービス事業所との連携を図ったことで、徐々に在宅の具体的イメージが想定できたのではないかと。また、そのように支援することの重要性を感じた。
今後の課題として、若年の入所者がますます増えることが予想される為、施設ケアマネとして、利用者が自立していく為に就労支援等の障害福祉分野とも連携し、幅広い情報提供ができるよう努めたい。

協会だより

令和6年11月～

●令和6年度第2回PT・OT・ST部会

開催日：令和6年11月13日(水)14:00～16:00
場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信
テーマ：「摂食嚥下の仕組みと考え方」
講 師：菊野病院 池上 敏幸 先生

【特別講演】

開催日：令和7年2月18日(火)15:30～17:00
場 所：鹿児島県医師会館4F大ホール(予定)
テーマ：未定
講 師：福祉の福ちゃん

●令和6年度第2回在宅ケア・支援相談部会

開催日：令和6年12月17日(火)14:00～16:00(予定)
場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信
テーマ：「家族への支援の視点や関係機関との連携について」(仮題)
講 師：鹿児島生協病院 生協ケアプランナー 阿久根 平 先生

【ご参考】

●第24回九州ブロック介護老人保健施設大会 with 熊本

開催日：令和7年7月10日(木)～11日(金)
会 場：市民会館シアーズホーム夢ホール
(熊本市市民会館)・熊本県医師会館
テーマ：やっぱりそうだよ！！
老健施設 地域包括ケアどまんなか
老健のプライド



●令和6年度第2回給食部会

開催日：令和7年1月28日(火)14:00～16:00(予定)
場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール
テーマ：「摂食嚥下障害と食事制限と脱水症状について」
講 師：株式会社明治 船津 桃子 先生

●第36回全国介護老人保健施設大会山口

開催日：令和7年11月27日(木)～28日(金)
会 場：下関市民会館 他



●第29回鹿児島県老人保健施設大会

開催日：令和7年2月18日(火)～19日(水)
場 所：鹿児島県医師会館(3F・4F)
テーマ：Just Now(じゃつどな)～
～ICTとDXで繋げる笑顔と安心～

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

令和6年度 研修会

第1回看護・介護部会及び在宅ケア支援相談部会

日時：令和6年9月25日（水）14：00～16：00

会場：鹿児島県医師会館及びZoom等による配信

テーマ

「施設における見取りケア」

講師：松崎 富士見 先生（社会福祉法人政典会）

【アンケート結果】 会場 8名 Web参加 13施設 29名

1. 評価

- ・非常に良かった 5名
- ・良かった 1名

2. 理解

- ・よく理解できた 6名

3. 意見や感想

- ・とても分かりやすく、ご家族の戸惑いや理解にも配慮された資料を活用しての説明など参考になりました。今後、自設においても親族間の意向のズレが少なくできるような、言葉かけやご家族の関わり方（希望に応じて）について検討して行きたいと思います。
- ・看取りについて分かりやすい有意義な内容でした。Power Point などの資料だけではなく実体験なども交えていた点も分かりやすくて良かったです。今回は ZOOM での参加でしたが、直接聞いたり意見交換がしたいので、今後会場での参加ができればと思います。
- ・高齢者施設におけるACPの重要性について改めて理解を深める事が出来ました。ご本人、ご家族の揺れる気持ちの変化にいかに寄り添いあっていけるのかしっかりと一丸となり「人生の最期」のお手伝いをさせていただきたいと感じた。専門職種間での価値観の違い（苦痛や負担軽減に対する）による支援、ケア 7（認知症ケアの7つの原則）への対応の必要性を感じる場面が多くあります。話し合いを行う必要があると感じました。パンフレット確認致しました。ありがとうございました。参考にさせていただきます。

4. 今後改善したほうが良いと思う項目

YouTube

5. 改善して欲しい理由

- ・ZOOM の調子が悪く、YouTube での視聴に切り替えました。その影響か音声の聴き取りづらい時がありました。

6. 次回はどのような研修会を希望しますか（テーマ、内容、講師など）

- ・移動・移乗の研修を希望

介護老人保健施設 西千石 看護師 山崎 里美



第1回給食部会

日時：令和6年8月7日（水）14：00～16：00

会場：Zoom等による配信

参加者：27名（Zoom）

テーマ

「GLIM基準の低栄養とリハ・栄養・口腔の三位一体の連携」

講師：吉村 芳弘 先生

（熊本リハビリテーション病院 サルコペニア・低栄養研究所 センター長）

【アンケート結果】 7名

1. 評価

- ・非常に良かった 4名
- ・良かった 3名

2. 理解

- ・よく理解できた 5名
- ・どちらかといえば理解できた 2名

3. 改善して欲しい項目

- ・資料が欲しかった 1名
- ・事前に資料が欲しかった 1名
- ・時間帯（最後のテーマは時間がなく、要点のみとなった） 1名

4. 次回はどのような研修会を希望しますか

- ・GLIMでの実際の入力法を数人分の実例を基に教えて欲しいです：2名
- ・リハ・栄養・口腔の三位一体の連携（今回の研修）の続き
- ・事例に沿った栄養ケアマネジメントや計画書内容等
- ・リハ・栄養・口腔ケアの一体的取り組みについて
- ・褥瘡ケア計画書について（他の施設での取り組みや対応方法等知りたい）

5. 本日の講師や、研修の内容について感想をお書きください

- ・GLIM基準やサルコペニアについて話を伺い、内容もとても分かりやすく、勉強になりました。多職種連携（リハ・栄養・口腔）についての話も、また詳しく聞けたらと思います。
- ・お二人の掛け合いがとてもおもしろかったです。
- ・以前、ご講演をお聞きする機会があり、今回もこのような機会を頂けて、大変うれしかったです。GLIMについてより理解を深めることが出来ました。リハ・栄養・口腔が一体となって取り組んでいけるよう、今後もっと知識を身につけて実践していきたいです。
- ・とても分かりやすく、聞きやすかったです。会場での開催を希望します。
- ・GLIM基準についてわかりやすく解説いただき、あいまいな部分が解消できた気がします。ありがとうございました。最後の方は、要点のみとなったのが残念でした。もっと聞きたかったです。
- ・最新の栄養診断の基準を知る事が出来たので取り入れていきたいです。
- ・吉村先生のお話は、全てエビデンスに基づいており、勉強不足で難しく感じることもあったが、分かりやすい内容でした。

青雲荘 新村 賢三



鹿島の断崖

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.18

東川隆太郎

NPPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事



南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。



高速船から島を眺める

甑島を訪ねて 前編

暮らしを豊かに 伝える街並みも

薩摩半島から西へ約30^{キロ}の東シナ海に浮かぶ甑島列島。北から大きく上甑島・中甑島・下甑島に分かれ、近年ではたびたび恐竜の時代の化石の発見が話題となっている島でもある。地形が変化に富み、独特の風景を楽しむことができることも知られる。今回は、自然はもちろん、歴史や文化の面からも甑島列島の魅力を深掘りしてみたい。

恐竜の時代といえば地質時代というところの白亜紀であり、今から約8000万年前の地層が島のところどころに露出している。ただ、こうした地層は簡単に理解できるものではなく、専門の知識がなければ確認することは難しい。また今後の発見に支障が及ぶことを避けるために広報はされていない。その代わり、現在島では展示の充実を図るべく、恐竜を含めた化石資料を多くの方々に見せるための施設を準備中である。

その展示施設が設置されるのが下甑島の北端に位置する鹿島地区である。薩摩川内に合併する以前は「鹿島村」であった。ちなみに村名は地名ではなく、地区を代表する神社が鹿島神社であったことに由来している。その鹿島神社は、漁港を見下ろす場所に位置している。御祭神はタケミカス



集落の眺め



鹿島神社



集落の路地



鹿島の路地



道中禁煙の表示



藪落とし



鹿島港

チノカミ。江戸初期にはあったとされ、今も地域で大切に信仰されている。

鹿島地区で住宅が密集している地域は、かつて牟田（沼などの湿地）であったように、地名は藪牟田である。つまり、その牟田地では藪草の採取が行われていたようである。採取した藪草を船に積むために海に落とす場所は「藪落とし」と呼ばれ、なかなかの高低差のある断崖絶壁である。この場所は今では海や夕日を望むために歩道なども整備されているが、かつては人々が隠れて念仏を唱えてきた場所でもあった。江戸時代に薩摩藩は浄土真宗を禁教としていたが、ひそかに信仰する人々がいて、甕島では信者も多数いたとされている。その方々の隠れた信仰の場のひとつが藪落としとされている。ちなみに海と反対側を望めば、藪牟田集落を望むのにも適している。

また藪牟田集落は細い路地が発達していて、歩いていて楽しい地区である。江戸中期に大火があったことから「道中禁煙」が地区のルールとなっており、その言葉を目にすることができ。

限られた範囲でありながら、白亜紀の地層も含まれる断崖から人々の暮らしを豊かに伝えるまちなみまで、凝縮して楽しむことのできる場所が鹿島地区といえよう。

（ひがしかわ・りゅうたろう） 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

こぼれおちた

ものもの

42

三角 みづ紀



目覚まし時計よりも先に、ぱちぱちという音が窓の外から響いた。寒くて起き上がりたくなかったが、まだ眠りが残った身体が高揚して、カーテンを開けたら雪が積もっている。街灯のひかりが白を照らしている。

朝が近づき気温が上がったのか、雪は霰あられになったようだ。ぱちぱちの音は、それらが窓の手すりにつぶつかる音だった。

明確な季節の境目などないけれども、冬のはじまりはわかりやすい。真昼には溶けてしまいかもしれない。しかし、あたらしい冬のはじまりには、いつだって犬になって走りまわりたい心地になるのだった。

アパートの各家庭に与えられた倉庫に自転車をしまい、ストロブを出し、冬靴も取り出さなきゃいけない。二月になったらすつかり埋もれてしまう小さな倉庫にも、わたしたちの季節が詰まっている。先日、夫が職場から栗をもらっ

雪景色の？ 前 当 たり



てきた。小さな山の上にある仕事場に届けられたとのこと。はんぶんはお正月のための甘露煮にした。残りはんぶんはおこわにして食べた。

ちよつとの量でも鬼皮を剥むき、渋皮を剥く行為は面倒ではあったが、ふたり並んで台所に立ち、おしゃべりをしていたら流しに茶色の皮が溢あふれていく。

十一月にはじめて雪が積もった朝、雷が三回鳴った。冬の雷は雪おこしと呼ばれるらしい。雪が激しく降る前兆なのだと教えてもらった。その通りになった。

紅葉した葉が残っている森へと雪が降り続くのを見ていたら、わたしはなんて忘れっぽいのだろうと思う。あらゆるものはいつでもあたらしく、生まれたてのはずだ。すぐに忘れてしまう。

すべてがかけがえのない瞬間なのに、そのこと自体を忘れてしまいう自分は、いろんな事象に慣れて、つまらない大人の顔をして過ごしている。

またあたらしい一年がはじまった。大晦日おおみそかと元旦は、一夜にして区切られる。そういうふうになりにわたりやすい変化だったら、もつと日々を大切に作るだろうと考えるも、あまりに簡単な発想だ。大切なことは自分で気づかなきゃ大切にできない。

どれだけ放置してもカビが発生しない鏡餅を眺めていたら、鹿児島かごしまの常盤町の一軒家での鏡開きを思い出す。カビを包丁で削ぎ落とし、おしるこを作っている母の姿。カビの匂いが当時は好きではなかったけれど、すこし恋しくなってくる。

「枝先」
届くところまで伸びたらやわらかく切り落としてそれが生きることなのだ
納得させながら鋏を持ち
本当はどこまでも伸びる
宇宙へ向かう枝がひとつ
それも生きることなのだ

我が家にはテレビがないので、リビングにある大きな窓の向こうを見つめている。映画を観るみたいにして夫とふたりで眺めていたら、あらゆる場面をしっかりと眼にも脳裏にも焼きつけておきたくなる。忘れないうつてあんがい大変だ。雪の時間が長い北国では、雪景色があたりまえの存在になる。

小学生のころ、授業中に雪が降り出して授業が中断したことがあった。先生と生徒たちは校庭に駆け出し、雪合戦をした。うっすらと染まった地面の白はたちまち溶けて、ほとんど泥の塊を丸めて投げてはしゃいでいた。あのころのわたしが、いまでも校庭で雪が降るのを待っている。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。



- ①壁一面を使って縄文土器を並べた「南の縄文文化コーナー」
- ②重要文化財展示コーナーでは国の重要文化財に指定された約8600年前の出土品を中心に展示
- ③重要文化財展示コーナー「双子壺、はきれいな形で出土したもので、目を引く」
- ④最新の成果についても展示している
- ⑤常設展示室前の床面に延びる「縄文タイムロード」も情報刷新
- ⑥上野原縄文の森の公式キャラクター「じょうもんくん」と記念撮影できる

「上野原縄文の森」(霧島市国分上野原縄文の森)

リニューアルフォーカス

壁一面に並んだ縄文土器に圧倒される。霧島市にある上野原縄文の森展示館の「南の縄文文化コーナー」には、県内で出土した縄文土器(約1万3千〜3千年前)122点が展示されていた。縄文時代は1万4千年も続いたとされる。その草創期から晩期まで各年代に分けて紹介しており、形や模

今回のリニューアルでは最新の調査や研究を反映し、常設展示室の内容も刷新・充実させた。約9千5百年前と考えられていた集落跡の年代は、最新の測定方法で調べ直したところ、約1万6百年前のものと判明した。従来よりも約千百年もさかのぼることから館内の表示も一新。常設展示室前の床に延びる「縄文タ

リニューアルでさらに魅力増す

様の変遷がわかりやすい。縄文土器は貝殻や縄目の文様が入った美しいフォルムが特徴で、定住生活や食習慣の変化に関係して発展してきたことが理解できる。

上野原縄文の森展示館は昨年10月リニューアルオープンした。国内最古級で最大規模の縄文集落が見つかった上野原遺跡(国指定史跡)を保存、活用するために2002年に開園。今では縄文文化を学ぶ体験型歴史施設として親しまれている。

「タイムロード」も年代を最新情報に変更した。このほか奄美群島の遺物を紹介する「考古学ギャラリー」も新設した。重要文化財展示コーナーでは、国の重要文化財に指定された約8千6百年前の出土品を展示しており、完全な形で見つかった「双子」の壺も見ることが出来る。上野原縄文の森公式キャラクター「じょうもんくん」と記念撮影できるデジタルコンテンツもあり、子供たちも楽しめる。(編集委員・米森)

ろうけん広場

第11回県民公開講座

テーマ

「桜島大規模噴火に備えて」 「避難の準備」が備えに

講師： 京都大学名誉教授 井口 正人氏
鹿児島市火山防災専門官

鹿児島県老人保健施設協会の第11回県民公開講座が昨年10月19日、鹿児島市金生町のよかど鹿児島で開かれました。講師は京都大学名誉教授の井口正人さん。「桜島大規模噴火に備えて」と題して、噴火のメカニズムや防災対策について話しました。会場には大勢の市民が詰めかけ、熱心に耳を傾けました。

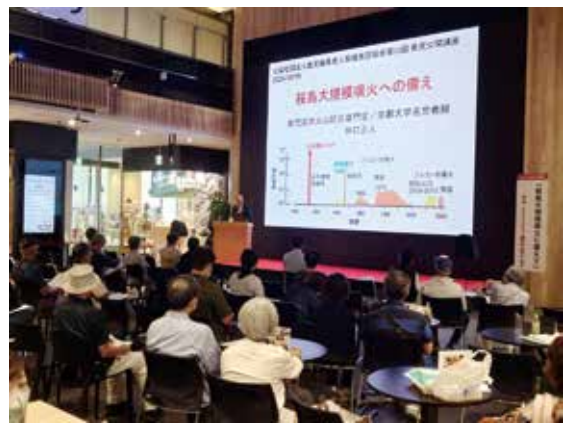
井口さんは京都大学防災研究所・火山活動研究センター教授を経て、昨年6月鹿児島市火山防災専門官に就任。40年以上桜島の噴火予知や観測、火山防災を研究、「桜島のホームドクター」とも呼ばれています。

公開講座で井口さんは開口一番「110年前に起きた大正噴火のような大規模噴火に備えないといけない」と強調。過去の大噴火のメカニズムと近年の噴火活動を解説し、「皆さんの生きている間に大規模噴火が起きる可能性は十分ある」。

「昔も今も噴石、火砕流、溶岩流など、人命に関わる要素は変わらないものの、交通・電気・通信など生活に欠かせないインフラが多すぎるのが現代社会である」と指摘しました。

いち早い避難が火山災害対策であることは豪雨や台風、津波災害などと同様で、「避難の準備が大規模噴火への備えになる」としました。

避難の留意点は①普段から非常持ち出し品を準備する②火山噴火では避難が長期化する可能性がある一など指摘。「避難は短期間であっても必要という認識を持ってほしい」と締めくくりました。



「桜島大規模噴火に備えて」をテーマに開かれた鹿児島県老健協会主催の県民講座



講師の井口正人氏
(鹿児島市火山防災専門官・
京都大学名誉教授)



開会のあいさつをする
前原くるみ・県老健理事



よかど鹿児島の大型スクリーンを使って講座は進められた



千葉しのぶさん

冬編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



煮なますは「湯なます」ともいわれ体を温める一品です。炒めた大根や人参に酢を加えて煮ます。塩サバやイワシ、アジ、キビナゴなどそれぞれの地域で手に入る青魚を使うのが特徴です。魚の濃い旨みが野菜に染みつつ、酢でさっぱりとした味わいになります。

レシピ

4人分

- 大根 400㌔
- 人参 50㌔
- 塩サバ 1切れ (80㌔)
- 油 大さじ1
- 調味料 (砂糖 大さじ1と1/2
酢 大さじ2
うす口醤油 大さじ1と1/2)
- ゴマ 小さじ1
- 七味または一味 好みの量

- ①大根、人参は3、4ミリのせん切り、塩サバは5ミリの厚さに切る。
- ②フライパンに油をあたため、大根、人参を炒め、塩サバを加えひたひたになるよう水を加える。
- ③②が煮立ったら調味料を加え落しぶたをし、汁気が少し残るくらいまで煮る。
- ④熱いうちに器に盛りゴマ、七味または一味を振る。

煮なます



一口メモ

出来立てに、好みで七味が一味を振ると、汗がにじむくらいにホカホカしてきます。

大根と豚肉の旨煮



一口メモ

圧力なべを使うと早く仕上がります。その際の加熱時間はレシピ記載の3分の1にしましょう。

大根の出番が多くなるこの時期です。みそ汁、なます、大根おろし、漬物とさまざまに調理されますが、中でも煮物に大活躍します。ブリや鶏、豚との相性が良く、十分に煮込んだ大根は、柔らかい歯触りとともに、じゅわっと旨みが染み出て、何物にも代えがたいものです。

大根を大きめに切り分け下ゆでし、かたまりの豚三枚肉はカツオダシで煮た後、大根とともに甘辛く煮こんでみました。

レシピ

4人分

- 大根 600㌔
- 豚三枚肉ブロック 250㌔
- かつおだし(かつお節 4㌔、水 2カップ(400cc))
- 調味料(濃い口醤油・本みりん 各大さじ3、砂糖 大さじ1)
- 絹さや 4枚

- ①水2カップを沸騰させ、かつお節を加え、再度沸騰したら火を止め、2分程度したらこす。
- ②豚三枚肉は①と共に火にかけ沸騰したら、静かに沸騰する程度に火を弱め、30分煮る。手で触れるくらいまで冷ましたら、豚肉を取り出し8等分に切り鍋に戻す。(汁はそのまま鍋に入れておく)
- ③大根は2㌔厚さの半月切りにする。
- ④②に大根と調味料を加え、再度火にかけ大根が軟らかくなるまで中火で煮る。
- ⑤塩ゆでした絹さやとともに器に盛り付ける。

介護用品 あれこれ

介護用品あれこれ

～「クモの巣の特性を生かして作られた床ずれ予防マットレス」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 **湯脇 稔**

はじめに

今回紹介させていただく商品は、クモの巣の構造にみられる、中心から放射状に伸びて巣を保護する硬い「縦糸」で身体の沈み込みを抑え、渦巻き状に広がり巣が壊れないように柔らかく伸びる「横糸」を体圧分散に応用するという発想から開発された、リバーシブル構造のウレタンフォームマットレスになります。

すなわち、活動性の変化が生じやすい床ずれ軽度リスク者の、多様なニーズをカバーするマットレスです。

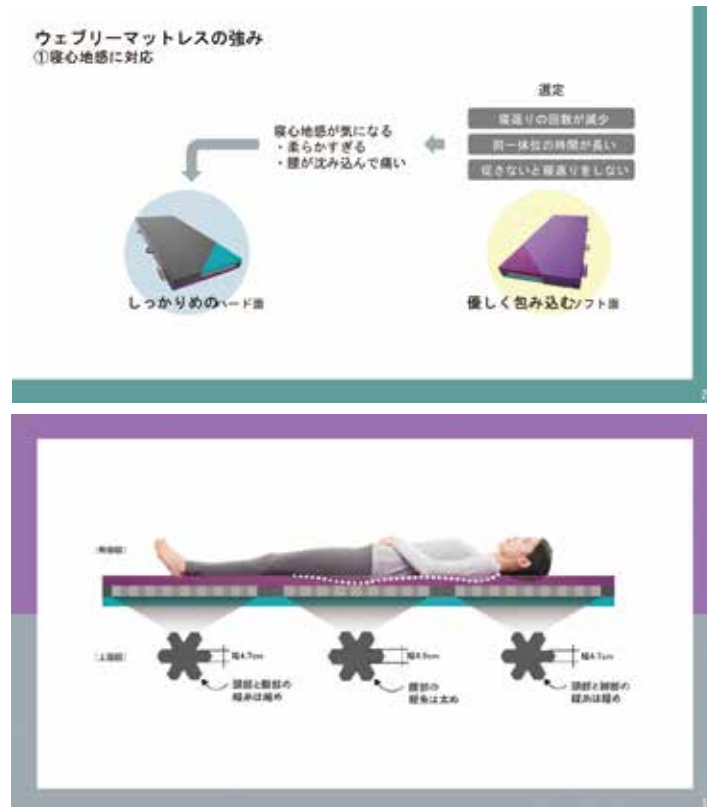
商品開発のコンセプト

- 多方面から引き寄せる優れたホールド力
- 腰や骨盤周りのさまざまなお悩みを抱える方にオススメ
- 高い通気性でストレスフリー
- 左右5つの滑車構造で操作性や固定力アップ
- 装着や微調整が簡単



「ウェブリーマットレス」の特徴

- ① 表裏硬さの違うリバーシブル構造により、沈み込みが少なく寝返りなどがしやすい「ハード面」、優しく包み込み床ずれリスク軽減に寄与する「ソフト面」が選択可能。
- ② 疾患や体調の変化など、日によってまたは時期によって状態が変わるご利用者に対し、「ハード面」と「ソフト面」を使い分けることにより、ADLの変化によって生じる多様なニーズを1枚でカバーできる。
- ③ あまり体重がかからない頭部や足部の縦糸は細くし、体重が集中する腰部は縦糸を太くすることで身体をしっかり支え、背骨のS字ラインを保持し、理想的な寝姿勢を実現します。



「使いやすさ」を重視したこだわり設計

- ・持ち運びに便利なハンドル付き
- ・頭側・足側の設置向きのないフリーデザイン
- ・ハード面とソフト面がわかりやすいタグ付き
- ・体圧分散効果を妨げない伸縮素材の専用カバー付き
- ・カバーの交換が容易なL字型に開くファスナー
- ・制菌加工・清拭タイプの専用カバー付き

*文・写真 株式会社 ケープ 商品説明資料及びカタログより引用。



あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良
 〒899-5652 始良市平松5062
 ☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474
 希望ヶ丘病院
 居宅介護支援事業所ろうけん始良
 訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘
 〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
 ☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255
 青雲会病院
 居宅介護支援事業所青雲

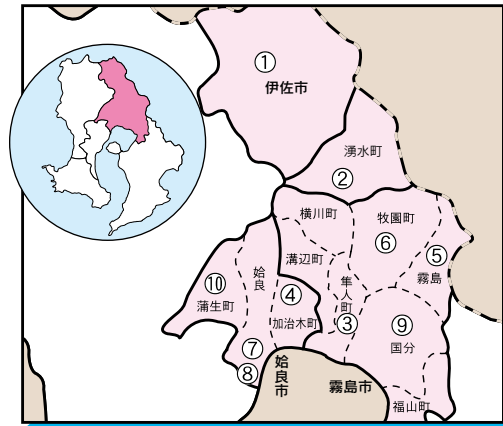


⑨アメニティ国分
 〒899-4301 霧島市国分重久361-1
 ☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515
 鵜木医院(指定介護療養型医療施設)
 うのきテイサービス(認知症専用)
 ヘルパーステーションアメニティ国分



⑩ろうけん大楠
 〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
 ☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338
 ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
 ろうけん大楠居宅介護支援事業所
 大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと
 〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
 ☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868
 大口温泉リハビリテーション病院
 ことぶき園(特別養護老人ホーム)
 グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑
 〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
 ☎0995-74-3300 FAX 0995-54-1236
 あいらの森ホスピタル
 グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
 グループホーム愛の里



③希望の里
 〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
 ☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359
 隼人温泉病院(療養型病床あり)
 訪問看護ステーション姫城
 グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木
 〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
 ☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756
 加治木温泉病院
 加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
 龍門の里(軽費老人ホームA型)

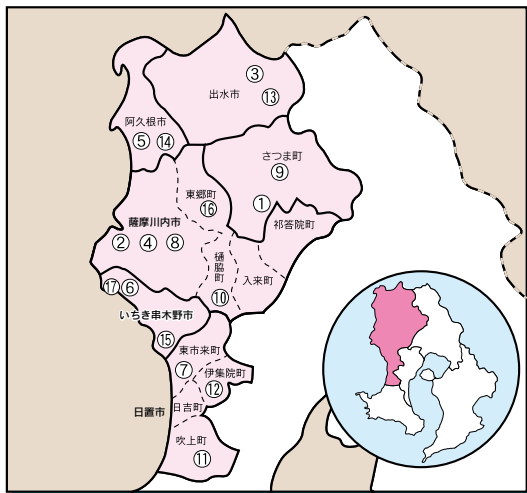


⑤きりしま
 〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
 ☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415
 霧島杉安病院
 訪問看護ステーションあんしん
 グループホームゆめ



⑥サンライトホーム
 〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
 ☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387
 霧島桜ヶ丘病院
 霧島青葉園(身体障害者療護施設)
 霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
 ☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134
 クオリアリハビリテーション病院
 訪問看護・リハクオラU
 グループホームアリエ



②あじさい苑
 〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
 ☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373
 薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
 きららクリニック
 グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
 ☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
 ケアセンターリエゾン日置
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
 〒899-0214 出水市五万石町281
 ☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
 ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
 〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
 ☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
 グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
 阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
 〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
 ☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
 吹上園・市来松寿園
 市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
 〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
 ☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
 グレースホーム訪問看護ステーション
 グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
 〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
 ☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)
 グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
 〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
 ☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
 ケアハウス出かい坂
 居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出かい坂



②スイートケアなかよし
 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
 ☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
 いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
 〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
 ☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
 居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
 デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
 〒899-0217 出水市平和町336-1
 ☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井整形外科内科中央病院
 ユニット型老健グランアージュ
 鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
 〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
 ☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
 在宅介護支援センター 長生園
 グループホーム 自立の家



⑤回生苑
 〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
 ☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
 阿久根市在宅介護支援センター
 桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
 〒896-0002 いちき串木野市春日町63
 ☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
 串木野市在宅介護支援センター
 慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
 ☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
 グループホーム あったかハウス
 訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
 〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
 ☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
 薩摩川内市在宅介護支援センター
 薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノほたるの里
 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
 ☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
 鶴田町在宅介護支援センター
 居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里



⑩グラン・ベリテわき
 〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
 ☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

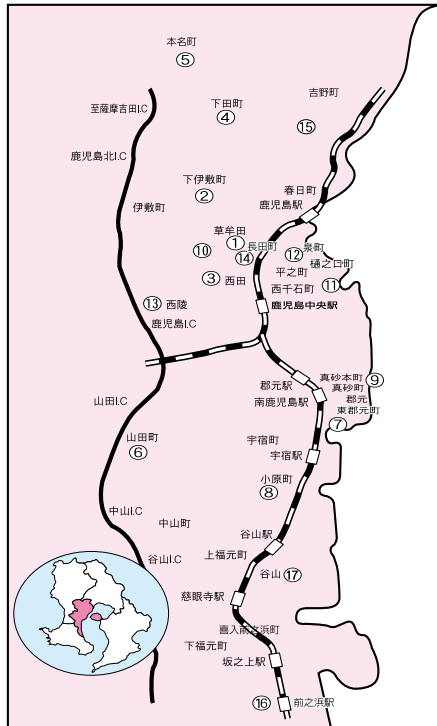
市比野記念病院
 翠泉苑(特別養護老人ホーム)
 指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
 〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
 ☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
 居宅介護支援事業所
 (湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

ケアプランセンター木蓮
ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
介護相談センター真砂本町



⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお
 〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
 ☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501
 グループホームきらら
 長崎内科
 陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン
 〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
 ☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802
 平和台病院
 介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑
 〒891-2124 垂水市錦江町1-140
 ☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280
 垂水市立医療センター、垂水中央病院
 垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
 居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ
 〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
 ☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105
 肝属郡医師会立病院
 居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた
 〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
 ☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201
 はるびゅうクリニック
 訪問看護ステーションふるる
 居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑
 〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
 ☎099-477-2331 FAX 099-477-2335
 曾於医師会立訪問看護ステーション
 曾於医師会立居宅介護支援事業所



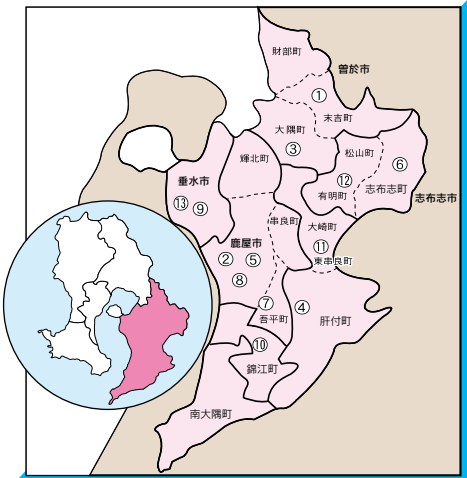
⑬絆
 〒891-2104 垂水市田神3536番地1
 ☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163
 池田温泉クリニック
 グループホームひまわり苑
 小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑
 〒891-0402 指宿市十町418-1
 ☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239
 今林整形外科病院
 明正会介護支援ネットワーク菜の花
 (居宅介護支援事業所)

曾 於 ・ 肝 属 地 区



①高原ナーシングホーム
 〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
 ☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530
 高原病院
 末吉町在宅介護支援センター
 末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり
 〒893-0024 鹿屋市下祓川町1853
 ☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727
 鹿屋訪問看護ステーション
 居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑
 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
 ☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964
 昭南病院
 大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑
 〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
 ☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160
 春陽会中央病院
 高山町在宅介護支援センター
 訪問看護ステーションたんぼぼ



⑤ヴィラかのや
 〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
 ☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226
 恒心会おぐら病院
 居宅介護支援事業所ヴィラかのや
 訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき
 〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
 ☎099-472-5666 FAX 099-473-3494
 病院芳春苑(精神科)
 ケアハウスぬくもり
 グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

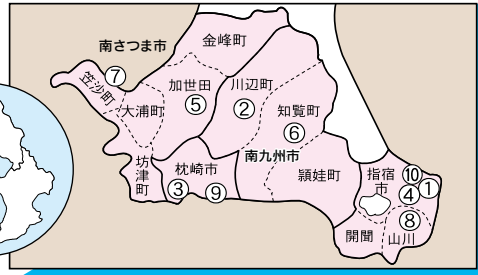
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

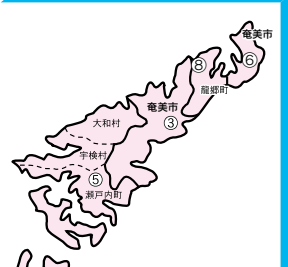
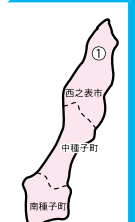
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会



干し柿づくりに挑む。

祝 迫 正 豊



表紙絵 「朝の光、窓辺」
S8号

年始の参拝、新しい年が平和でそれぞれが健康で過ごせるようにと願う。昨年11月中旬、いつも行く店の店先に橙色の少し縦長の柿が、大きなビニール袋に入って並んでいた。数が多いので目に留まった。よく見ると、「渋柿」と書いてある。片手では持てないくらいの数である。幼い頃、縁側の軒先に吊るした干し柿を思い出した。懐かしさもあり一袋買って帰った。

袋を開けて数えたら36個もあった。どれも立派でみずみずしい。ひもでくくれるように実のヘタが残してある。皮を丁寧にむいて2階のベランダに吊るした。うまく干し柿になるだろうか。

吊るしてから3日ほど過ぎた。暖かい日が続いていたので気になりベランダをのぞいてみた。水分をたっぷり含み、実が熟したものが2個ほど落下し、コバエらしいものが舞っていた。そこで干し柿をいったん部屋に取り込んだ。気温を気にせず干したタイミングの悪さを反省。慣れない挑戦だった。

その後、急に冬めき、寒気でしっかりと引きしまった干し柿になった。まずまずの出来で自己採点70点。暮れから正月、孫を含め家族に喜んでもらえた。

今回の干し柿づくりの挑戦も同様だが、家庭菜園に精を出す中、近年は四季のない1年を感じる。夏から秋の酷暑、各地の集中豪雨、世界に目を向けるとアマゾン周辺の記録的干ばつなど気候変動のニュースが気になる。今年はどうなる年になるだろうか。

今回の表紙絵「朝の光、窓辺」は数年前に描いた油彩画。朝の窓辺がモチーフだ。窓から射し込む光が鉢植えのアンズリウムを照らす。新鮮な朝の光が魅力だ。



●作家略歴：祝迫 正豊 (いわいざこ まさとよ)

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞(最高賞)
- 1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2021年 南日本美術展「委嘱作家賞」
- 2023年 第107回二科展「東京都知事賞」
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇昨秋、全老健全国大会が開かれた岐阜県を初めて訪れました。江戸時代、薩摩藩が木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)の治水工事に携わり、鹿児島とは縁が深い。大会会場横を流れる長良川は川幅が広いものの流れは穏やかでした。昔ははん濫したら手のつけられない存在だったとは…。悠々と流れる清流に先人たちの苦勞を忍びました。

◇2024年もあつという間に過ぎ、私の1年の締めは年末恒例の県民第九演奏会への参加でした。3回目の舞台で、9月から毎週1回練習会がありました。自分より年配のみなさんが真剣に歌に向き合う姿に背中を押され、どうにか頑張れました。

◇新しい年を迎えました。干支は辰から巳へ。「巳」という漢字は胎児の形をかたどった象形文字です。「新しく生まれてくる」「子孫繁栄」などの意味があるそうです。へビは脱皮することから復活と再生を意味すると言われ、そんな1年になることを願っています。

編集委員

米森 俊一(県老人保健施設協会理事)
加治屋 洋(さるびあ苑)
角之上 洋一(ひまわり)

(米)

ろっけん鹿児島

(令和7年冬号)

通巻118号 無料

令和7年1月1日発行

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2

発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

T 8000-0050

鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F

電話099(0)01-047 FAX099(0)01-046

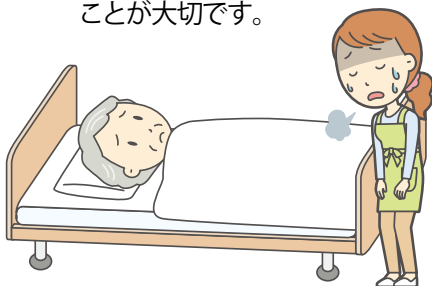
E-mail:k-roken@pp.minc.ne.jp

Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

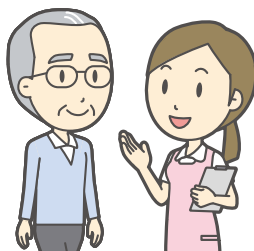
理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



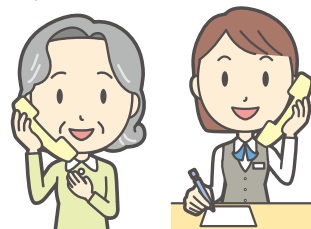
見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら!

お住まいの

市役所・
町村役場

または

地域包括
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

[公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部]

(相談日/月~金 10:00~16:00)※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)